皇紀二千五百九十七年　昭和十二年八月三十日　京城日報　第一萬七百三號

京城日報　夕刊　（日）

上陸部隊進撃また進撃

上海入城愈よ近し

後續部隊上陸で士氣振ふ

【上海二十九日同盟】揚子江下流○○○に上陸した○○部隊は後續部隊の上陸により士氣愈よ振ひ南方○○目指して前進また前進遂に二十八日○○鎭突破、二十九日は朝來更に南進を續けてゐる、上海東部の我が第一線部隊との連絡完成も目睫の間に迫つてゐる

戰況有利に展開

羅店鎭は敵の重要な根據地

【上海二十八日同盟】羅店鎭は我が上陸作戰を阻害し併せて爾後の前進を困難ならしめる敵の重要根據地であり我が○○部隊が之を占據したことは支那軍にとり大打撃である

【上海二十八日同盟】二十六日から二十八日拂曉にかけ約四十時間に亘る激戰の後敵軍の重要根據地たる羅店鎭を占據した○○部隊は二十八日正午から夕刻にかけ更に敵に數回猛烈な砲火を浴せつゝあり、この方面の戰況は俄然我が方に有利に展開して來たなほ我が軍當面の敵は死體及び捕虜等より判斷して第五十六師第六十七師及び第二十四師の各師より拔擢された約三萬の混成師團の模樣である

國民政府戰時體制

六つの小委員會設置さる

【上海二十八日同盟】南京よりの電信電話その他一切の交通杜絶し邦人引揚後既に二週間中央政局の消息は杳として知る由もなかつたが廿八日南京よりの情報によれば去る八月六、七の兩日に亘る劃期的な擴大會議を開催した全國々防委員會はその後上海事變の勃發による情勢の急變に伴ひ逼迫せる形勢に臨み全面的對日抗戰に關する軍政各般の工作の根本方針を討議決裁し來つたが戰局の進展に伴ひ全國々防委員會を純然たる軍事國防の最高常設機關として更に權威あらしめることになり、この委員會の下に軍事、政治、産業、財政、民衆訓練及び、金融の六箇の小委員會を設けるに至つた、各小委員會の主席は軍事は黄紹雄、産業は吳鼎昌、財政は孔祥熙、外交は宋子文、民衆訓練は陳立夫、宣傳は陳公博であるが是ら小委員會の活動により全國々防委員會は行政院に取つて代り國民政府は今や戰時體制に突入せんとしつゝある

民心大動搖

【上海二十九日同盟】我が軍の猛……

支那機八つ當り

味方陣中や英商船さては米艦を空爆

【上海二十九日同盟】支那……を試みたが失敗に……昨夜同……上飛び去り虹口及び我軍……も既に優秀な飛行隊員を失……充してゐるので累次失敗を……

【上海二十九日同盟】航行……五分虹口碼頭附近航行中の……

勇士の英靈安かれ

あす合同告別式

午前九時七十八聯隊營庭で

……新戰場の露と化した故丸山大佐以……合同告別式はいよ〳〵卅日午前九時……において深澤中將……

李鍝公殿下

寛城子を御見學

【新京特電】李鍝公殿下には皇帝陛下と御歡談を終へさせられ廿八日午後一時半宮内府を御退出、寛城子戰跡に向はせられ、同三時御着、高島部隊長の御先導にて記念碑に設けられたる天幕に入らせられ、陸大生一同と御共に滿洲事變當時分隊長として寛城子戰闘に參加した星憲兵少佐の御說明を靜さに御聽取りに相成り同三時御機嫌麗しく大和ホテルに入らせられた

……戰に依り支那軍の……敗退し民心の動搖甚だしいものがある、……港軍警備總司令楊虎は二十八日夜『支那空軍の大部隊は既々到着しつゝあり人民は懸を安んぜよ』との主旨の聲明を發表した又三十九日の支那紙は一齊に數日來の……那側の大損害を認め……その他に於て局部的敗退は全面的敗戰を意味せず日本軍に畏怖する勿れと述べ我が飛行機の勇猛果敢な攻撃に極度の不安に陥つてゐる支那民心の動搖防止に大童になつてゐる

青島の邦人住宅掠奪さる

【青島廿八日同盟】青島全居留民が引揚げ準備に忙殺されてゐる二十八日日本人住宅十數軒は支那暴民のため掠奪されたことが判明、我が當局は直ちに公安局に對し嚴重抗議をなしたが引揚後の日本人遺留財産に對しては支那當局が保護する旨契約せるにも拘らず引揚げ完了せざる今日既に掠奪が行はれたので引揚後の財産保全は全く憂慮されてゐる

厦門の形勢頗る惡化す

【香港二十八日同盟】厦門の形勢は去る二十四、五日ころから頗る惡化して第百五十七師は市民に對し命令に從はないものに對しては强制立退きを命ずるなど沙汰の限りをつくし中には之を拒否した數名あると傳へられてゐる、なほ廿八日夜出動命令を受けたイギリス軍艦は厦門に急行する模樣であるの報に遭ひ危險に瀕したゝめではないかと見られるが同島にはイギリス、アメリカ、フランス、日本の……形勢は重大視される、岡崎厦門總領事は二十九日正午同地發の大阪商船香港丸にて基隆に直行する……

在留邦人引揚

【香港廿八日同盟】厦門在留邦人は去る廿四日大部……共同租界の領事館内に居残り殘務の整理をしてゐた……留邦人、台灣在籍民共に軍艦○○警護の下に厦門を出發した

日の丸の街を欺いて廻る

兵士に化けた不屆者

生きてるだけで澤山

朝も晝も夜も握飯と梅干

上海にて本社特派員　後藤和夫發

空襲は十四日から始められた、記者（後藤）は、この時、たまたま日本總領事館から出て自動車に乘るところだつた、ブルルンと爆音が聞えたと思ふ間もなく約七百米かと思はれる高度で、黄浦江（その沿岸に上海はある）の下流から三臺の飛行機が飛んで來た、日本の海軍機だと思つたのだが、第○艦隊○○から高射砲、機關銃を打ち出したので、これは敵機だとはッと思つた、ボッンと、まるで鳥が糞を落すやうに爆彈を落す

餘りにも皮肉

避難民の中に爆彈

十四、十五の兩日は、制空權は支那側に握られてゐた、日本軍の飛行機は○○、○○等から飛び出してゐるが、これ等は小さな○○機だ、敵の優秀機とは、その性能が異ふのが、素人の目でもはつきり見える、傑作は、もう飛機で知つてゐる事と思ふが、南京路と愛多亞路とに落ちた敵の……衛英租界の目拔きの……際にある、支那空軍の爆彈目標は軍艦○○なのだ、それが、約三キロの地點にある愛多亞路の大世界（歡樂場）の前に落ちたのだから皮肉といへば皮肉にすぎる、その前に、虹口側（主として日本人居住區域）の支那人に對しては、蘇州河以南（舊英租界）に避難せよとの命令が支那側から出てゐた、さうしてこれ等避難群衆は、舊英租界（共同租界の南部）と佛租界、華街南市城内等に逃れた、この總數は七十萬といはれてゐる、これ等が密集してゐる南京路の入口にあるキヤセエ・ホテルまたその向ひのパレス・ホテルに――それから大世界前に支那側が自ら爆彈を叩き込まれたのだから皮肉だ（僕はその現場へ自動車を走らせた、パレスホテルがみじめに破壞されてゐる丁度午後のお茶の時間だつたので外人たちがホテルのロビーでお茶を飲んでゐる外に爆彈は落ちた『お茶をもちパレス・ホテルの客あわて』こんな駄句を吐きたくなるほど現場は悲慘だ――人間は急場に出合ふと反つて駄洒落をとばしたくなるものだ

負傷者よりも

死者が多い"大世界"

そのパレス・ホテルの建物は惡といふ惡のガラスは破られてしまつてゐる見渡す限り人間の死體だ、血の臭ひがぷうんと鼻をつく、赤いどす黑い血の海、白、黑、青、赤の色彩のとりどりだ、子を抱いて倒れてゐる母、しやがんだまゝになつてゐる男、腦漿が流れ出てゐる女、老人も子供も、誰彼といふのではない、入れ代り、立ち代り……京大震災でも見な……こんな群衆の眞ン中に爆彈が飛び込んだ、死者千四十三名、負傷四百三名といふのだから負傷者が少く死者が多い

生死は運不運

迫撃砲は怖くない

……射ち出す高射砲、……んなものではないまでして方角が判らなくなるほどの强烈な音響だ……のは迫撃砲、山砲……こになつてしまつて……來るのは迫撃砲だ……までしか來ない、……四百發も入……合せて百五……のではない……運不運だと……か三秒のこ……ものは便所の中でも死んでゐる

陸戰隊は强い

永久に忘れぬ感激

戰線の全局は、……現れると、とたん……度までは同等の力……する、いかに……けはしない、……

コップに冷酒

砲火を肴にお月見

○○○の陸戰隊員が、……○○○……支那兵……陸戰隊は强い……

……暦十五日、よい月だ、日頃なら杯をあげてゐる頃だが、今ではそんな事もできない、せめてコップに冷酒をもり、屋上にあがつて、敵方から撃ち出す砲火の閃光を肴にしようもの……

空襲下の上海　後藤和夫

僕はいま砲彈爆彈の襲來の眞ン中にゐる、いつ僕のところに砲彈がとんで來るかも豫想はつかない、こんな時になると、僕のやうな平和論者も敵を殲滅すべし、戰ひは勝つべし、との强硬論者になつてしまふ僕の眼は現地だけにしかとゞかない、世界の大勢などは見えない大勢は日本にゐる諸兄、前線から離れてゐる諸兄が見てくれてゐるであらう、この動亂は當分の間――少くとも半年、長ければ二年も三年も五年もかゝるであらう、日本と支那とが生死をかけての爭鬪にまで發展するであらう、そんな時に遠い處にある英、米、佛、獨伊、それからソ聯などから甘い汁を吸はれないやうに用心してほしい、僕自身いま頻々と飛來する砲彈の下で日本は勝たざるべからずと痛切な感懷を抱いてゐる（廿一日夜記）

日曜氣配

◇期米　今回政府は米穀統制力を强化するため來る臨時議會に米穀行法案を提出するがこれが新法案として議會を通過すると新米五六百萬石の買上げが行はれるものと見られ買方は新政策を期待してゐる

◇株式　長期平穩納會に市場人氣は好轉し一般に好感を與へてゐる、月末金融も前途樂觀に平穩越月するものと見られ株式市場に好影響を齎らしてゐる

大新七三、九〇鐘新二一一、〇〇東新一三四、九〇日産六六、三〇

天氣豫報（30日）

仁川の潮（30）

滿潮　干潮

京城地方

仁川地方

明日朝刊休み

國定忠次（くにさだちうじ）（40）

長谷川伸作　岩田專太郎畫

雨の大原（七）

忠次郎はお紺の袂をそッと引き、立去るごとくゆッくり歩いた。

『行つてしまふの？』

『なあに、行くものか』

小さな聲で話す姿を遠眼でみたら、媚かしくみえた筈だ。が、コソコソ留はそれに眼もくれず、

『赤羽の桑畠の横町から畑へ出やがつて畔傳ひに細谷ケ井へ行くつもりで、三四十人は圍まれて野郎、いい氣になつて歩いてやがるのを、親分が飛び出して、渡せと掛け合ひになつてゐると、横から山伏連中がわッといつて鐵坊主をとッ捉まへに行つたのがキッカケで、取組みあひとなつたが、さすが家の親分だ、大きな聲で寺社お奉行樣のお許しだ、抵抗ふ奴は斬つてしまへ、寺社お奉行樣のお指圖だ、斬れ斬れと怒鳴つたのが利いて、お寺から付いて來た三四十人が、まるで蜘蛛の子を散らしたやうに逃げちやつたのはいゝが、鐵坊主め、暴れ出しやがつて手に終へねえ』

『やい／＼留、いつまで喋べつてやがるんだ、詳しくいはねえで掻摘んでいへ！』

と叱りつけたのは、窪沢貞衛の秘藏の子分、赤浜の文助、柳の六尺棒を突いて、草の中から半身出してゐる。

『じや掻摘んで話さあ。石の雨が降つて來たらけよ、こつちへ來るんだ』

『ちえッ、それぢや掻摘み過ぎてゐて解らねえ。間拔め、喋るやうに云へ、何の爲に口が横についてゐるんだ、馬鹿野郎』

『悪口言合じやねえよ、哥兄。見物の奴等が石を抛つてよ、鐵坊主のひいきをするんだ、だから味方の頭が瘤にけだつて話よ』

『親分は、どうなつた』

『捉まるどころか、味方が三人ものされた』

『親分はどうしてゐる？』

『親分はカンカンになつて怒つてゐる。山伏連中が詰らねえ處で手出したのが悪いんだといつてよ』

『そんな事は後で云へ。親分は鐵坊主をこつちへ追込むやうにさせて居るのか居ねえのか』

『それだから俺が一番足が早いので飛んできたんだ』

『うむ、で？』

『親分が、旨え具合に、鐵坊主をこつちの方へ追込んでくるから、文助にさういへッといひつかつて來たんだ。ああ息が切れる』

『元なことをいふから息が切れるんだ馬鹿野郎め。亂竹、見張りに行け。留、亂竹のゐた處へ行け、おうみんな、隠れろ！』

がさがさ、草が烈しく鳴つて、十二三人殘らず姿を消した、と、文助の聲で、

『動くな。俺が合圖するまで動くな』

その後は森となつた。

この態を、往來の向ふで、忠次郎とお紺とが、傘の乘を中にして眺めてゐたのに、文助は眼をくれなかつた。

もつとも、今の忠次郎は、命的に鐵坊主を助ける氣があるのではない、何となく、心惹かれてゐるだけの事だから、見張りを命ぜられた亂竹は、忠次郎とお紺にキラリと眼を光らせた、が聞えるわッわッといふ聲が、かしに、ほッとなり、慌てゝ横道へ駈込んだので、これも忠次郎お紺を追拂ふところまで行かずにしまつた。

『お紺さん聞えるか、あの聲が』

『耳が遠いと思つてゐるの？厭だ』

『おう近くなつた、もうすぐ來るぜ。この騷ぎを見物するのは俺とお紺さんとたつた二人きりとは、妙だなあ』

『土地の者では女のあたし、他國の者では旅人さんだけ、あらッ、今の野郎が飛んで出た！』

亂竹が脚を前走らせて、ご註進に、泥濘を蹴立てゝゐる。

『見ねえお紺さん。あいつら馬鹿だ。俺ない、草の中へ隠れてゐねえで、立木が並んでゐるあの陰へみんな隠れさせて置いて、鐵坊主があの道から出てきたら、ぐるッとヲッ包んでしまふのに、おッ、足音だ、激しいぞ。こいつは屹度鐵坊主だ』

と、いはれてお紺が、息をひそめた、その途端に、切つて放した如く雨が激しく音を立て降り出した。

鐵坊主が、その雨の中へ飛んで出た。

妻

小島政二郎作　宮田重雄繪　【14】

移動警察（五）

寢たやうな、寢ないやうな、苦しい寢勞の永い汽車旅だつた。登る朝上野へ着いた時、鈴子は頭も體もモヤッとして、靄なるかつた。

杉浦代議士の邸の前には大勢の出迎へが來てゐて賑やかだつた。

それに引き替へて、出迎へは愚か、西も東も知らぬ東京の北玄關へ吐き出された心細さに、鈴子は體が細る思ひがした。

「東に角も一旦わしの邸へ、お出で。」

機關の目まぐるしさに、鈴子は足が竦む思ひがした。國にゐた頃、東京地圖を擴げて、上野ステーションを中心に、殆ど擧を指ざすやうに知悉してゐた地の理も、いざとなると、悲しいかな、方角すら分らなかつた。

「あの驛へ行くには、どの電車に乗つたら宜しいんでせうか。」

鈴子は、心細さに潤んだ聲で、驛へ來て立つた四十がらみの人のよささうな女の人を摑まへて聞いた。

「これへ乘つて、萬世橋で乘り替へて省線へ乘るんですね。」

女の人はさう云つて敎へてくれた。で、指さされた市内電車へ慌てて乘つた。

乘つてからも、今道を敎へてくれた女の人の、齒切れのいゝ、綺麗な言葉の響きを耳に快く思ひ出してゐた。

「お留守ですよ。」

敬はり、敬はり、やつとの思ひで辿り着いた邸の、下宿先を訪ねて來た甲斐もなく、友達は外出してゐなかつた。

考へて見れば、無理もなかつた。友達は、學校へ通つてゐる故、午前中家にゐる害はなかつた。

ラヂオのプロ

三十日（月）

第一放送

午前六時（東）ラヂオ體操

同六時一五分（東）全國ニュース

同六時三〇分（東）速成佛語講座（十六）

同七時　今日の天氣見込

同七時一分（東）朝の修養　論語講話　市村瓚次郎

同九時（城）龍山衛戍地合同告別式實況（第二放送・京城・平壤）歩兵第七八聯隊より中繼

同九時二〇分（城）氣象通報（淸津はローカル）

同九時四五分（城）料理獻立（鯛の子富貴卷）同（クレーム・チキン・淸津）

同九時五五分（東）家庭メモ

同一〇時三〇分（東）婦人の時間　八月の婦人界

同一一時一五分（城）家庭の時間（朝鮮語・釜山）食慾と料理　金浩植

正午（東）時報外

午後零時五分（大）サキソホン獨奏　アダム・コヴアチ　ピアノ伴奏　武澤武

一、愛の喜び　二、ワルツ・カプリース　三、メロデー　四、フオクストロツトライトニング

同零時三三分（大）國民歌謡　伴奏　大阪ラヂオ・オーケストラ　一、航空決死兵　二、敵けよますらを

同零時三〇分　ニュース（氣象通報　釜山・淸津）

同四時　ニュース

同六時（札）天然記念物めぐり（三十）丹頂鶴と海からすの話　北大農科敎授　犬飼哲夫

同六時三〇分（平）「夏休みの思ひ出」發表會（三）一、平壤公立南山普通學校　第一學年　林贊瑞

二、同山手小學校　第三學年

三、同鋼路普通學校　第四學年　藤山増二　田甕玉

四、同若松小學校　第五學年　新谷令子

五、同丹橋小學校　第六學年　栗本宏子

同六時三〇分　理科問答（淸津）指導　小山松一（兒童）淸水ヌイ子　千葉哲明　森田寬也　伊達千佐子

同六時五〇分（東）コドモの新聞

同六時五五分（東）カレントトピックス

同七時　ニュース外

同七時三〇分（大）講演　非常時に於ける國民の經濟的覺悟　商學博士　武田鼎一

同八時（大）管絃樂　指揮　大阪放送交響樂團　エマヌエル・メッテル

交響曲　第四九番　ヘ短調　第一樂章　アレグロ・モルト　第二樂章　アンダンテ　第三樂章　メヌエット・アレグレット　第四樂章　フイナーレ・アレグロ・アッサイ

同八時三〇分（東）演劇三夜（その三）ラヂオ・コメディ　非常時ガラマサどん

配役　ガラマサどん　古川綠波　浪子夫人　藤田房子　社長の秘書　石田守衛　女中　道川禮子　張貝珍　古川綠波　おたい（女房）月野富子　八さん（魚屋）蝶花樓馬樂　他に……渡辺篤外　音樂伴奏　東寶聲樂團　演出　川島順平

同九時三〇分（東）時報外

同九時五〇分（城）地方へのニュース（朝鮮語・釜山・淸津）

同一〇時（城）地方へのニュース（京城は第二放送による）レコード（平壤）

同一〇時三五分（東）支那語ニュース（京城は第二放送による）

第二放送

午前一一時一五分　家庭の時間　金浩植

午後零時五分　マンドリン合奏

同六時三〇分　お話　尹石重

同七時　講演　洪銀杓

同八時　趣味講演　李東岐

同八時三〇分　箏歌のおけいこ

同八時四〇分　唱劇調　李東伯

同九時一〇分　流行歌　朴世煥

ラヂオ

◇演劇三夜◇（三）

ラヂオコメディー　非常時ガラマサどん

古川綠波外大勢

【八・三〇】

名物男ガラマサどん、非常時に直面して、少しも騒がず、年は老つても氣は若く、愛國の念燃えるやうである。昔、上海で助けてやつた支那人の窮境を救つてやるやら、支那の留學生に援助してやるやら、大變な騷ぎ、根がお人好しだから、何をしても角が立たず、頑固な氣質ながら親切千萬……非常時とあつては自分も戰地へ行きたいと言出してみたりするが、結局倅が航空將校となつて渡滿に成功したと聞いて痛快がり、御母堂の義太夫で親子の迷惑を省りみず……

天然記念物

□札幌より□

新庄氏は北大農科敎授動物學者のお方です

（イ）丹頂鶴群棲地

あすの晝の番組

卅一日（火）

午前一一時一五分（城）家庭の時間

午後零時五分（東）琵琶　橘大隊長　田邊錦波

同六時三〇分（大）連續童話劇　海の子供たち（八）

同八時（釜）農山漁村への時間

同八時三〇分（東）落語　松山鏡　桂文樂

同八時五〇分　浪花節　重國の母　末期の乳房　梅中軒鶯遊

昭和十二年八月三十日（明治卅九年九月十日第三種郵便物認可）

號外

京城府太平通一丁目
發行所 合資會社 京城日報社
電話本局（2）一一八一番
振替京城 三〇〇番
編輯兼發行人 兒島吉治
印刷人 小川三之介

鳴動する一觸卽發の青島

青島居留民の遺留財產危機に曝さる

【青島廿九日同盟】現地保護の方針變更により一萬七千の居留民は二十餘年間血と汗の結晶で築き上げた經濟力と財產をそのまゝにし旣に大部分は內地に引揚を決行したがこれら居留民の遺留財產並に權益保護について沈鴻烈市長は遁辭を構へて不誠意極まる態度を示しつゝあり現に租界內に於ては晝夜の別なく依然と排日が行はれつゝあるが支那側公安局警察力の不足と巡警等の抗日意識から取締の誠意も能力もない有樣で居留民引揚完了し我が海軍の監視威壓の手が弛むこととなれば如何なる事態に立到るやも知れず居留民の遺留財產權益は甚だしく危險にさらされることとなり我が出先三機關も成行を憂慮し對策を考究中である

寫眞說明【上】一度起たばの緊張を見せる青島警備の旗艦〇〇艦內の緊張【下右】郵船日光丸で門司着の青島居留民【下關要塞司令部許可濟】【下左】英國航空母艦イーグル號【青島にて】電送

裏面に重要記事あり

本號外は本紙に再錄せず

皇軍・勝利と共にあり（北支戰線）

寫眞說明【上左】廿三日朝長城最頂點を占據、手前双眼鏡を手にせるは岩松部隊長【上右】居庸關占據皇軍の萬歲（廿三日午前八時）【下右】皇軍慰問の衆院代表と在滿記者團（居庸關にて）【下中】長辛店附近ラマ塔占據の皇軍【下左】長辛店附近の皇軍步哨

蘇支不可侵條約

國民政府、成立を發表

【南京二十九日同盟】國民政府外交部は二十九日午後聲明を發表し今回蘇支不可侵協定が成立した旨公表した

條約內容

【南京二十九日同盟】國民政府外交部は二十九日午後五時去る八月二十一日附を以て支那ソヴエート間に締結をみたる蘇支不可侵條約內容を發表した、全文左の通り

中華民國國民政府とソヴエート社會主義共和國聯邦政府とは一般平和の維持に貢獻し、また兩國の友好關係を鞏固、且つ永續的基礎に固め且つ又一九二八年八月二十一日調印のパリ不戰條約に基づく兩國の義務をより的確に確認せんがため本條約を締約せんと決意し國民政府主席は外交部長王寵惠を蘇聯政府中央執行委員會は特命全權大使ボゴモロフを夫々正式代表に任命し左の各本條を約定せしめたり

【第一條】締約國は國際紛爭解決のため戰爭に訴へることを排擊し且つ相互の國際關係において國策遂行の具としこの紛爭を否認することを嚴肅に再確認しこの締約を遵守するため締約國は單獨に、または他國との共同動作により他の締約國に對して一切の侵略をなさざることを誓ふ

【第二條】締約國の一方が一國又は數國の第三國より侵犯を受けたる場合においては他の締約國は當該の第三國に對して紛爭の全期間に亘り直接の援助を與へざることを約す、且つ侵略により非侵略締約國のため不利なる結果を齎すべく利用されることあるべき一切の行動をとらず、又一切の調停をなさざるべきことを約す

【第三條】本條約の諸規定は本條約成立以前に締約國雙方が調印したる二國又は數國間の條約又は協定に基づく權約遵守の權利義務に影響なきやう解釋すべきものとす

【第四條】本條約は二つの英文にて作成し條約全體の效力は調印の日より發生し且つ五年間有效なものとす締約國の一國が本條約を破棄せんとする時期は滿了前六ヶ月以前において相手方に通告すべし若し滿期前に雙方とも右通告をなさざる場合は本條約は最初の五ヶ年滿了後更に二ヶ年自動的に延長されるものとす、右二ヶ年の期間滿了六ヶ月前に當該締約國雙方が本條約破棄の意思を表示せざる場合は更に復二ヶ年間繼續さるべくその後もこれに準ず

一九三七年八月二十一日　南京において調印

保定西方爆擊

わが空軍秋空を快翔

【北平廿九日同盟】明朗な秋空を快翔し廿九日午後我が空軍は果敢な爆擊を敢行、殘敵を掃蕩彼方攪亂に大なる効果を收めた、即ち○○部隊は訛花村、西田鎭、附桃各城より退却する敵に對して爆擊一齊掃射を浴せ完膚なきまでに叩きつけ、次で南縣南方西關鎭を爆擊、また○○部隊は保定の西方菜源を爆擊、集結中の敵騎兵部隊を潰走せしめた

沙城、宣化へ入城

【天津二十九日同盟】懷來より進擊中であつた○原部隊は二十八日夜沙城に入城、また關東軍部隊は同夜午後八時半威風堂々宣化に入城した

陳官屯を占據（津浦線）

【天津二十九日同盟】二十九日朝靜海を進發、津浦線に沿ひ南下進擊中であつた我○○部隊は午前十一時過ぎ靜海南方約二里半の陳官屯附近の敵を驅逐同地を完全に占據した

わが病院船を射擊

【上海二十九日同盟】病院船○○は上海戰線の傷病兵を乘せ二十九日午後三時上海を出帆し○○に向ふ途中、同四時半頃呉淞鎭に差かかるや支那兵は突如同船に向つて小銃の亂射を浴せて來たので同船は全速力を以て漸く危機を脫したがその際二名の看護兵は敵彈のため重傷を負つた、同船は白塗の船體に綠線を引き赤十字の赤い十を大書して病院船たることを明かにしてゐるにも拘はらず白晝これに砲火を浴せ來た支那兵の暴虐振りには列國人士も憤慨してゐる

特別志願將校 採用範圍擴張

【東京電話】陸軍では特別志願將校の採用範圍の擴張並にその年限延長に關する等の省令の改正を行ひ、右改正要項を三十日附官報を以て公示するが、今回の改正は昭和八年勅令第十二號による『豫備役、後備役將校充用に關する件』の改正を主とするものでその主旨並に要點は左の如くである

◇改正要項

一、特別志願將校豫備役又は後備役佐尉官より採用し得る如く先般勅令の改正せられたるに伴ひ充用の改正をなす

二、その他充用改正をなす

◇改正要點

一、採用範圍を豫備役又は後備役の佐官大尉及び補充令第百六條により任官せる豫備役又は後備役の少尉まで擴張す

二、前項の佐官、大尉の志願年齡を五十三年未滿、定限年齡を五十五年と定む

三、一年志願兵又は幹部候補生の定限年齡を二年延長し最年長者と雖も受恩給の資格を賦與する如くす

四、憲兵學校の新設に伴ひ充用事項を增補す

五、その他の事項に若干の改正を加ふ

なほ改正要點『一』中にある補充令第百六條とは平時の特別補充中の改正であつて同條は『豫備役又は後備役准士官にして軍人の本分を守り技能を有する者は特にこれを以て將校に補充することを得』となつてゐるものである

ポケット地帶空爆

【上海二十九日同盟】我が海軍機○○機は二十九日正午頃より約一時間に亘り折柄雷鳴まじりの荒天を衝いて閘北、江灣の各敵陣地に對し爆擊を加へ、殊に閘北轉站と北停車場以東蘇州河に至る所謂『ポケット地帶』に空爆を加へ同方面の敵砲兵陣地に徹底的大打擊を與へた、右ポケット地帶はアメリカ・マリンの警備する租界線に三方を圍まれ先年の上海事變當時は一切爆擊を控へてゐたため敵は安全地帶と稱してゐただけに同日の我が空爆に非常な打擊を蒙つた模樣である

米陸戰隊急派

【サンチヤゴ二十八日同盟】アメリカ政府は上海居留アメリカ人保護のためサンチヤゴ駐屯陸戰隊を上海に急派するに決定した

全面的に空爆（海軍省副官談）

【東京電話】海軍省では二十九日午後五時上海方面の一般狀況竝に海軍航空隊の活躍に關し副官談の形式で左の如く發表した

海軍省副官談

我が海軍航空部隊は上海方面の陸上戰線の進展に伴ひ益々陸上部隊との聯繫を密にし連日間斷なく敵の前線陣地及びその後方據點の全面に亘り猛烈なる爆擊を敢行し敵に多大の損害を與へてゐるが、昨二十八日及び一昨二十七日における主要なる爆擊箇所は左の通りである

◇二十七日　羅店鎭、劉行鎭、大場鎭、嘉定、江灣、浦東方面各敵陣地

◇二十八日　羅店鎭、朱家宅、吳淞鎭、周家橋、浦東方面各敵陣地、崑山及び滬杭鐵橋及び上海南停車場

以上各地の爆擊により敵はその陣地及び人員、器材に多大の損害を蒙ると共に後方連絡を阻害せられ漸次戰線を縮小しつゝある模樣である兩日の爆擊中我が軍の飛行機二機は敵の猛射を冒して肉薄爆擊に轉じたる際敵彈を受け敵陣地に突入して壯烈なる最期を遂げた

福州に排外暴動

英艦香港より出動

【香港二十九日同盟】イギリス軍艦デライト號は二十八日朝汕頭より香港に歸還し同日夕刻直に出動命令を受け北上した、右は福州において排日運動より更に擴大して一般排外暴動が起つたためといはれる、なほ支那側は福州港口に多數の船を沈めて封鎖したので船舶の航行は不可能となつた

米軍勝つ

日米陸上競技大會

【東京電話】日米對抗陸上競技大會第二日は第一日アメリカ軍四七對三七とリードの後を受け二十九日午後三時から神宮競技場で續行、コンデションは前日と殆ど同樣、午後二時半公開競技たるマラソンの出發を皮切り定刻四百米障碍から熱戰第二日の幕は切つて落された、成績左の通り

◇四百米障碍 1相原淳次（日）五四秒二（日本新記錄）2新田時雄（日）五五秒3トム・ムーア（米）六〇秒九（失格）ジャック・ワイヤー・ハウザ（米）【得點】日七、米二

◇八百米 1ジョン・ウッドラフ（米）一分五八秒六2チャールス・フェンスキー（米）一分五八秒九3青地球磨男（日）二分〇秒四4富江利直（日）【得點】日三、米七

◇走高跳 1ダビット・アルブリトン（米）一米九八2田中弘（日）一米九五3加島忠（日）一米九五4ウイリアム・ライツ（米）一米八〇【得點】日五、米五

◇三百米 1ワイヤー・ハウザ（米）三三秒2ロバート・ヤング（米）三三秒三3谷田陸生（日）三三秒四4湯淺敬平（日）【得點】日三、米七

◇砲丸投 1ジエムス・レノルヅ（米）一四米五二2樋田孝（日）一三米〇一3アービング・フオルワーチュニ（米）一三米九七4松島次郎（日）一二米五二【得點】日四、米六

◇三段跳 1戶上研之（日）一四米八一2田中弘（日）一四米五三3リチャード・ガンスレン（米）一四米二一4ウイリアム・ライツ（米）一三米二三【得點】日七、米三

◇百十米障碍 1アイマン・トルミチ（米）一四秒八2村上正（日）一五秒3矢田喜美雄（日）一六秒4トム・ムーア（米）【得點】日五、米五

◇鐵槌投 1プーリング・フオルワーチュニ（米）五一米六六（日本新記錄）2南永禎太郎（日）四七米五二3塚本錦之助（日）四七米一九4ゼームス・レーノルヅ（米）三二米五五【得點】日五、米五

◇千六百米繼走 1アメリカチーム三分一七秒八2日本チーム三分二四秒四【得點】日一、米四

◇五千米 1村社講平（日）一五分一一秒四2田中秀雄（日）一五分二〇秒八3ロックナー（米）一六分一〇秒4ンエンスキー（米）【得點】日七、米二

【小計】日四七、米四七

【總得點】日八四、米九四

けふの天氣

晴れたり曇つたり（きのふ最高二十九度四）